

7月14日(日) 第1限 南山大学Q棟606号室にて

生まれた時には消費税5%だった中学生、高校生、大学生のみなさん!

消費税ってイッタイゼンタイ何なの? ちょっと考えてみない!

7月14日(日)、南山大学で行われた愛知サマーセミナーで消費税についての講座を行いました。講義が始まる10分前に定員40人の教室が受講生で満席になりました。47コマのパワーポイントを用意して講義しましたが、そのパワーポイントの画像データを7月20日までQRコードで見られるようにしたのが大好評でした。以下でパワーポイントの一部を紹介します。

所得税&法人税の税収と消費税の税収

所得税の税収		
1991年度	2018年度	
26.7兆円	19兆円	▲7.7兆円
法人税の税収		
1989年度	2018年	
1.9兆円	12兆円	▲7兆円
所得税、法人税の減税分		
		▲14.7兆円
消費税の税収		
		2018年
		17.6兆円
差引した増収分		
		約3兆円

* 消費税の税収分の83.5%は、
所得税&法人税の減税のために使われた。

上場企業の株式配当

2005年	4.6兆円
2007年	7.2兆円
2009年	5.5兆円
(リーマンショックによる影響で一時的に減少)	
2012年	7.0兆円
2015年	10.4兆円
2017年	12.8兆円

この10数年間は、リーマンショックで一時的に減少したものの、“うなぎ登り”と聞いていいような上昇をしています。2005年と2017年を比較すれば、何と約3倍の増加です。

そして…!!!

実は、日本の金持ちの納税額は
先進国の中で一番低い!

先進国の個人所得税の実質負担率(対国民所得比)~世界統計白書2012年度版より

日本	7.2%
アメリカ	12.2%
イギリス	13.5%
ドイツ	12.6%
フランス	10.2%

個人所得税は、先進国ではその大半を“高額所得者が負担するもの”です。

個人所得税負担率が低いということは、イコール“高額所得者の税負担率が低い”ということです。

その一方で、サラリーマンの平均年収は
バブル期に比べて、20ポイントも下がったまま

~国税庁統計より

2005年	437万円
2007年	437万円
2009年	406万円
2012年	408万円
2015年	420万円
2017年	432万円

この間、サラリーマンの給料はまったく上がっていません。2000年代から現在にかけて、日本は深刻な格差社会に突入したのです…!!!

日本の“実質の法人税率”は驚くほど低い！

政府と財界は“日本の法人税は高いから、税率を下げないと企業が海外に逃げてしまう”と言います。

日本の法人税は、“名目上の税率”は23.2%（国税）と非常に高く設定されていますが、様々な抜け穴があって、“実質の法人税率”は驚くほど低く、だいたい半分しか払っていません。

日本の企業全体の計上利益と法人税収比較

	計上利益	法人税収	実質法人税率
2013年	72.7兆円	10.5兆円	14.4%
2015年	80.9兆円	10.8兆円	13.3%
2017年	96.3兆円	12.0兆円	12.5%

*いずれも財務省発表の資料から算出

さらに、消費税が非正規雇用を拡大させた！

もう一つ問題なのは、消費税の仕入税額控除が非正規雇用の呼び水になっていることです。

仕入税額控除は“仕入”とついています。何も仕入れに限らず、必要経費のかなりの部分が対象になります。自分のところで人を雇って払う“給料”は対象になりませんが、外に仕事を発注して“外注費”という形をとると仕入税額控除の対象になります。つまり、同じ人件費を使うなら、社員を雇うよりも、外の派遣会社をお願いした方が仕入税額控除の対象になる分、節税ができることになります。

イギリスの付加価値税の税率

標準税率	20%
軽減税率	5%
	家庭用燃料、電力の供給、高齢者・低所得者を対象とした暖房設備・防犯用品等、チャイルドシート、避妊用品など
軽減税率	0%（非課税）
	食料品（贅沢品以外）、上下水道、書籍・新聞・雑誌、運賃、処方に基づく医薬品、医療用品、子供の衣料・靴、女性用衛生用品など

フランスの付加価値税の税率

標準税率	20%
軽減税率	10%
	惣菜、レストランの食事、宿泊費、旅費、博物館などの入場料
軽減税率	5.5%
	水、非アルコール飲料、食品（菓子、チョコレート、マーガリン、キャビアを除く）
軽減税率	2.1%
	演劇やコンサートの初演（140回目まで） 処方のある医薬品、雑誌や新聞
軽減税率	0.0%（非課税）
	医療、学校教育、印紙や郵便切手

感想文をいくつか紹介します。

高校生 16才 男性

自分が生活している時に、ずっとあるものだったので、消費税の歴史について初めて知ることができました。最近消費税の引き上げについてニュースでよく見ますが、ニュースでは分からない問題について知ることができました。今までは政治に関しては正直無関心で、自分の国がこのような問題を抱えていることはしりませんでした。消費税だけでもこんなに問題があるので、政治の問題について考えなければいけないと思いました。2年後には自分の考えを持って選挙に行ければいいなと思います。

高校生 17才 女性

今まで10%に引き上げられるのはいやだけど仕方ないなと思っていました。しかし、他の国と比較したり、日本の現在の格差社会の様子を聞き、増税以外の形で日本の福祉や年金などの問題を解決できないかなと考えることができました。まだ、私は選挙に行けないですが、政党について詳しく調べてみようと思いました。

教師 55歳 男性

所得税や法人税の優遇措置などにより、お金持ちの税負担が軽くなっていること、株の収益の分離課税の話など、知らないことを知ることができて良かったです。日本の軽減税率が適用されるものの不思議さも興味深かったです。食料品などの生活必需品の消費税率は0にしないといけないですね。

父母 53歳 女性

消費税についての講座受講を希望したのは息子です。会場が母校なので息子に同伴で聴講しました。母校が素敵になっていてキラキラしていて、懐かしさが込み上げました。普段消費税について無知でしたが、講義を聞いて、仕組み、各国との違いが分かり、ショックでした。もっと勉強しないといけない、意識を持たないといけないと思いました。消費税は廃止すべきです。

中学生 13才 女性

イギリスやフランスの軽減税率には驚きました。それでは日本より実質消費税は少ないのかなと思いました。お金持ちと一般人でこれほど差が出るとは思わなかった。お金持ちになりたいと思った。

高校生 16才 女性

8%になるか10%になるかのクイズ、とても勉強になりました。食品だと食べる場所によって10%か8%かが変わってしまうのが、少し難しかったです。また少し自分でも調べてみようと思います。

(文責 外山孝司)